

PRESS RELEASE

# 禅

特別展

## の心とかたち

曹洞宗大本山  
總持寺の至宝

開祖瑩山紹瑾禪師七〇〇回  
二祖峨山韶碩禪師六五〇回  
遠忌記念



2016年  
10月15日(土)~11月27日(日)

開館時間/午前9時30分から午後5時(入場は午後4時30分まで)  
休館日/毎週月曜日、第4火曜日(10月25日、11月22日)

主催/名古屋市博物館・中日新聞社・曹洞宗大本山總持寺

名古屋市博物館  
NAGOYA CITY MUSEUM

〒467-0806 名古屋市瑞穂区瑞穂通 1-27-1

TEL052(853)2655 FAX052(853)3636

展覧会公式サイト <http://zennokokoro.com>



The Spirit and Form of **ZEN** : Treasures of Sojiji Temple

## 〈 展覧会概要 〉



けいざんじょうきんぞう  
重要文化財「瑩山紹瑾像」  
鎌倉時代 元応元年（1319）自賛  
總持寺蔵  
【前期展示 10/15（土）～11/6（日）】  
開祖瑩山紹瑾が生前中に描かれた頂相  
（肖像画）。

諸嶽山總持寺は、吉祥山永平寺とともに曹洞宗の二大本山のひとつです。曹洞宗の太祖と呼ばれる瑩山紹瑾（1264～1325）が鎌倉時代の元亨元年（1321）に能登国にあった諸岳寺観音堂を禅の道場に改めた事に始まります。瑩山紹瑾の門流によって、曹洞宗の禅は全国に広がって行き、それとともに總持寺は曹洞宗の中核寺院として発展して、大本山を名乗るようになりました。明治44年（1911）に神奈川県横浜市に移転し現在に至っています。

本展は、總持寺が所蔵する宝物を通じて、曹洞宗の禅を紹介するものです。あわせて両禅師ゆかりの寺院からも特別出品されます。

\*展示件数70件。一部展示替えがあります。

【前期展示：10月15日（土）～11月6日（日）】

【後期展示：11月8日（火）～11月27日（日）】

## 〈 展覧会のみどころ 〉

- 1 圧倒！大法被 …P4
- 2 もうひとつの大本山 …P5
- 3 多様な總持寺の禅文化 …P5
- 4 文化財とともに、ただ、坐る。 …P6
- 5 風外コレクション、初公開。 …P6



總持寺とは……

總持寺の伽藍

曹洞宗（禅宗）の二大本山のひとつ。道元禅師から四世の法孫にあたり、永平寺で修行した瑩山紹瑾（1264～1325）禅師が、鎌倉時代の元亨元年（1321）に能登国鳳至郡櫛比莊（石川県輪島市）にあった、諸岳寺観音堂を禅の道場に改めた事に始まります。

瑩山禅師から總持寺を引き継いだ峨山韶碩（1276～1366）禅師とその門流によって、曹洞宗の禅は全国に広がっていきました。そのため曹洞宗では、日本に曹洞宗の禅をもたらした道元禅師を高祖、全国に教えを広める礎となった瑩山禅師を太祖と称し、両祖を祖師として仰いでいます。

總持寺は曹洞宗の中核寺院として発展し、室町時代には能登を領した大名である畠山氏、江戸時代には前田氏の外護を受け伽藍の整備が進められていきました。

明治31年（1898）火災に遭ったのを機に、明治44年（1911）、現在の横浜市鶴見に移転再建され現在に至っています。

注：瑩山禅師は曹洞宗では「太祖」と呼ぶことが一般的ですが、本展では總持寺を開いた人物として「開祖」と表記します。

■大本山總持寺 総受付（代表）

〒230-8686 神奈川県横浜市鶴見区鶴見2-1-1  
電話：045-581-6021 ファックス：045-571-8221



初寺公開

石川県指定文化財「瑩山紹瑾坐像」  
鎌倉時代、永光寺蔵  
開祖瑩山紹瑾の面影を伝える坐像。瑩山禅師が死去した永光寺に伝わる。



「釈迦如来坐像」  
中国・清時代か、總持寺蔵  
横浜移転後、本尊として祀られていた坐像。

## 〈 展覧会構成 〉

第1章 禅の諸相

第2章 草創と展開 祖師頂相と基本史料

第3章 嫡々彩華 文化財賞翫



がさんじょうせきぞう  
福井県指定文化財「峨山韶碩像」  
南北朝時代、龍泉寺蔵  
總持寺二世、峨山韶碩の頂相（肖像画）。峨山が弟子に与えたものと伝わる。眉を寄せた表情が峨山の厳格さを伝える肖像画である。  
【後期展示：11/8（火）～11/27（日）】

重要文化財「前田利家夫人像」  
江戸時代、總持寺蔵  
前田利家夫人まつの前年に描かれた肖像画。江戸時代初期の女性肖像画の優品である。前田利家は、能登時代の總持寺を手厚く遇し、再建時にも貢献している。  
【後期展示：11/8（火）～11/27（日）】



だいばだつたぞう  
重要文化財「提婆達多像」  
朝鮮・高麗時代、總持寺蔵  
提婆達多は釈迦をねたんで敵対し、地獄に落ちたとされる人物。濃厚な色彩が美しく、日本に伝来する高麗仏画の優品といえる。

# 1 圧倒！大法被

總持寺では10月に瑩山・峨山禪師を供養する御両尊御征忌会を開きます。この大法被は最終日の10月15日ただ一日のみ掛けられ、法会のクライマックスである總持寺貫首による大問答の莊嚴さを演出するものです（禪宗では本堂を裝飾する布のことを「法被」といいます）。縦7.3メートル横6.7メートルの巨大な幕を精緻かつ豪華な金襴織りと刺繡とで作り上げており、染織品としては最大の国指定重要文化財です。

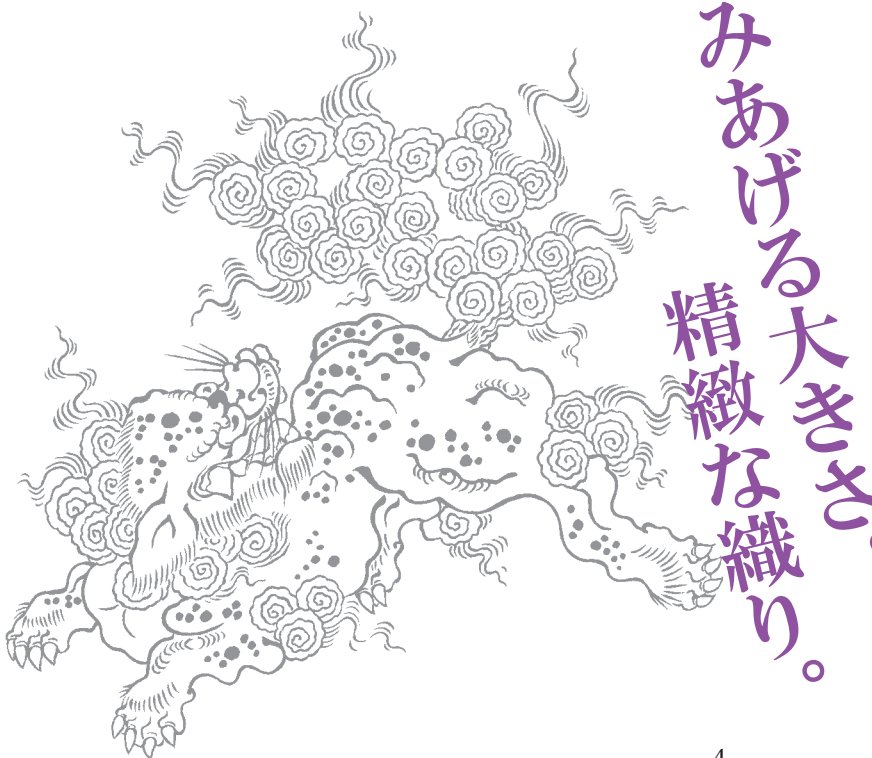
寺外初公開であり、3週間【前期展示：10月15日（土）～11月6日（日）】という長期の展示も初めてのことです。

寺外  
初公開



重要文化財

ししゅうししくもんだいはっぴ  
「刺繡獅子吼文大法被」(部分)  
江戸時代、全体) 縦 727 cm × 横 669 cm  
總持寺蔵 【前期展示：10/15～11/6】



みあげる大きさ。  
精緻な織り。



# 2

## もうひとつの大本山



「大日本山總持寺全景」大正 11 年 (1922) 總持寺藏 明治 44 年 (1911) に移転し、整備が進む境内の様子。右下は鶴見駅。

曹洞宗の寺院は全国に約 15,000 ケ寺あるなか、愛知県はその 8%、1,200 ケ寺があつまる曹洞宗王国といえます。とはいえ、高校の日本史の教科書には、曹洞宗の開祖は道元、中心寺院は永平寺とのみ記されるためか、二大本山の一方である總持寺のことは愛知県では意外と知られていません。本展ではもうひとつの大本山の全容をご紹介します。

# 3

## 多様な總持寺の 禪文化



鈴木松年「不倒達磨図屏風」明治時代 總持寺藏  
明治の京都画壇を率いた鈴木松年の作。禪宗の祖師である達磨を豪放に描く。画面をはみ出しそうな迫力を持ちつつ、達磨の顔つきには愛嬌があふれる。賛は「達磨は倒れない、酔っていても倒れないぞ。」の意か。

けいざん ぜんじ  
瑩山禪師の禪の特徴は、道元禪師の禪に密教や民間信仰の要素を取り込んで禪の民衆化を図ったことにあります。伝来する宝物も頂相ちんそう（禅僧の肖像画）や墨跡ぼくせき（禅僧の書）といった禅宗美術ばかりではなく、密教や山岳信仰の仏像や、横浜移転後に納められた近代日本画など多様性に富んでいます。

「藏王権現立像」  
平安時代 總持寺藏  
高さが 170 cm を超える木像。藏王権現は修験道で祀られる山岳信仰の神。



# 4

## 文化財とともに、ただ、坐る。



見るばかりではありません。曹洞宗の禅の特徴は「只管打坐」、ただひたすらに坐ること。会場内に坐禅スペースを設け、700年の歴史を乗り越えてきた寺宝や歴史資料と同じ空間で、坐ることができます。また、会期中に禅僧の指導による坐禅体験会も開催します(→P7)。

きょうさく  
「警策」  
坐禅のとき、肩をたたいて  
心の緩みをいましめる。

ふうがいほんこう  
風外本高 (1779～1847) は、伊勢出身の曹洞宗の僧です。三河国足助の香積寺に住し、教化につとめる一方、「禅画」の名手としても知られています。本展では名古屋市博物館が所蔵する風外作品のうち、選りすぐりの10点を初公開します。

「風外本高像」横山雲安画・風外本高賛  
江戸時代、名古屋市博物館蔵



# 5

## 風外コレクション、初公開。

# ZEN

## 〈 展覧会イベント 〉

※関連事業への参加にあたり障害等により特別の配慮が必要な方は、2週間前までに博物館にお知らせください。

### 講演会：「總持寺の歴史と宝物」

日時：10月15日(土) 14時から(開場13時30分)  
講師：小池富雄氏(鶴見大学教授)  
会場：博物館 講堂  
定員：当日先着220名  
料金：聴講無料 ただし本展チケット(観覧済み半券可)が必要です。  
※当日12時30分より聴講整理券を先着順に配布します(1名様1枚限り)。

### 講演会：「愛知の曹洞禅」

日時：11月12日(土) 14時から(開場13時30分)  
講師：川口高風氏(愛知学院大学教授・白鳥山法持寺住職)  
会場：博物館 講堂  
定員：当日先着220名  
料金：聴講無料 ただし本展チケット(観覧済み半券可)が必要です。  
※当日12時30分より聴講整理券を先着順に配布します(1名様1枚限り)。

### 学芸員による展示説明会

日時：10月29日(土) 14時から(開場13時30分)  
講師：山田伸彦(名古屋市博物館学芸員)  
会場：博物館 展示説明室  
定員：当日先着100名  
料金：聴講無料

### 坐禅体験会

日時：10月26日(水)、27日(木)、28日(金) 14時30分から(開場14時)  
協力：愛知県第一曹洞宗青年会  
会場：博物館 展示説明室  
定員：当日先着20名  
料金：聴講無料 ただし本展チケット(観覧済み半券可)が必要です。  
※当日12時30分より聴講整理券を先着順に配布します(1名様1枚限り)。  
※長時間足を組むことが困難な方、そのほかサポートをご希望の方は、当日の2週間前までに博物館にお知らせください。



## ZEN

### 〈 展覧会情報 〉

■ 展覧会名称：開祖瑩山紹瑾けいざんじょうきん禅師七〇〇回 二祖峨山韶碩がさんじょうせき禅師六五〇回 遠忌記念  
特別展 **禅の心とかたち** 曹洞宗大本山 總持寺の至宝

■ 会 期：平成 28 年(2016)10 月 15 日(土)～11 月 27 日(日)

■ 休 館 日：毎週月曜日、第 4 火曜日(10 月 25 日・11 月 22 日)

■ 会 場：名古屋市博物館

[名古屋市瑞穂区瑞穂通 1-27-1 地下鉄桜通線桜山駅下車 5 分]

■ 主 催：名古屋市博物館・中日新聞社・曹洞宗大本山總持寺

■ 観 覧 料：一般 1,000(800)円 高大生 600(400)円 小中生 300(100)円

\* ( )内は 20 名以上の団体料金と前売料金。

\* 前売券は 10 月 14 日(金)まで名古屋市博物館、チケットぴあ(Pコード=767-701)、ローソンチケット(Lコード=41630)、ほか主要プレイガイドなどで販売。

\* 名古屋市交通局の一日乗車券・ドニエコきっぷを利用してご来館の方は 100 円割引。

\* 身体等に障害のある方または難病患者の方は、手帳または受給者証の提示により、本人と介護者 2 名まで当日料金の半額。

\* 各種割引は重複してご利用いただくことはできません。ご了承ください。

■ 一般のお問い合わせ先：名古屋市博物館

電話 :052-853-2655 ファックス :052-853-3636

e-mail:ncm@ray.ocn.ne.jp

■ 展覧会公式ウェブサイト：<http://zennokokoro.com>

学芸担当 名古屋市博物館 学芸課 山田・津田・武藤

広報担当 名古屋市博物館 学芸課 星子・三浦

# 広報用 作品画像・読者プレゼントチケット 申請書

開祖瑠山紹瑾禅師七〇〇回 二祖峨山紹碩禅師六五〇回遠忌記念  
特別展

## 「禅の心とかたち 曹洞宗大本山總持寺の至宝」展

平成28年(2016)10月15日(土)～11月27日(日)

広報用画像の使用は、「禅の心とかたち展」を紹介する場合に限ります。展覧会終了後の使用、または二次利用はお断りします。

広報用画像を紹介する場合は、展覧会名・会期・会場・作品名・クレジットを必ず記載してください。

広報用画像は全図で使用してください。トリミング、変形、部分使用、文字のせを行う場合は事前に申請の上、承諾が必要となります。

掲載記事につきましては、基本情報確認のため、校正刷り、原稿の段階で下記の広報事務局までお送りください。

### 貴社についてお知らせください

貴社名

媒体名

ご住所 (〒 )

ご担当者名

所属部署

TEL

FAX

E-mail

掲載紙・誌の発行日・放映の予定日が決まっていたらお知らせください。

年 月 日

【個人情報の取扱いについて】

ご記入いただきました個人情報は、名古屋市博物館より本展覧会に関する情報発信や連絡などが必要な場合にのみ使用します。許可なく第三者に開示することはありません。

作品画像を1点以上掲載し、本展をご紹介いただける場合、読者向けチケット(5組10名分まで)を提供します。

希望する 組 名分

※原則として掲載紙・誌が広報事務局に到着し、確認させていただいてから発送いたします。

希望しない

希望の画像の□に✓してください。

※資料名は以下の名称を使用し、所蔵先を並記してください。

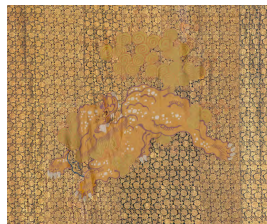
□1 不倒達磨図屏風  
鈴木松年筆 總持寺蔵



□2 蔵王権現立像 總持寺蔵



□3 重文 刺繍獅子吼文大法被(部分)  
總持寺蔵  
10/15(土)～11/6(日)展示



□4 瑠山紹瑾坐像 永光寺蔵  
\*トリミング不可。



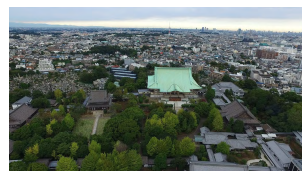
□5 重文 前田利家夫人像(部分)  
總持寺蔵  
11/8(土)～11/27(日)展示



□6 重文 提婆達多像 總持寺蔵



□7 總持寺の伽藍



□8 展覧会イメージ



お問い合わせ先

## 名古屋市博物館

名古屋市瑞穂区瑞穂通1-27-1 広報事務局担当：学芸課 星子・三浦  
Tel 052-853-2655 / Fax 052-853-8400 / E-mail ncm-gaku@juno.ocn.ne.jp